

瓦谷山



瓦谷山だより



発行日 2010年7月吉日
発行人 (宗) 真光寺
岡本和幸
印刷 現代社
編集 (宗) 真光寺

問い合わせ先
(宗) 真光寺
TEL 0438-75-7414

○お寺HP
<http://www.shinko-ji.jp/>
○上総自然学校HP
<http://www.shinko-ji.jp/satoyama/>
○お寺ブログ【瓦谷山だより】
<http://sinkoji.cocolog-nifty.com/news/>

vol.14

ご挨拶

本年六月、私が入山以来初めて真光寺単独で、福井の大本山永平寺に団体参拝旅行を行い、有意義な参拝旅行を行うことができました。大本山永平寺様では、夜、早朝の坐禅を体験、毎年山門大施食会でご法話を頂戴していた、西田正法布教部長老師より特別に坐禅指導をしていただき、またすばらしいご法話も頂戴しました。

この中で壱百四歳の禅師様で有名な、故宮崎奕保禅師が結婚式の披露宴で語られたお話をご紹介いただきました。結婚に先立ち、仏、法、僧の三宝に帰依する儀式を行ったが、帰依三宝の「南無帰依仏」とは「光」のことである。「南無帰依法」とは「正しさ」のことである。「南無帰依僧」とは「仲良き」のことである。人間は正しさをめぐって争うもの。互によく話しあって、お互いの考えを認め合い、仲良く暮らして欲しいといわれたそうです。

お釈迦様も親鸞聖人や宮沢賢治も、仏あるいは命を「光」と呼んでいます。縁によつて生まれ、縁によつて育まれ、すばらしい調和の中に生きているという事実に気づいたとき、生きとし生けるものすべては光り輝いて見えるということです。お互いがそうしたすばらしい命と出会いをいただいているわけですから、お互いの命を拝み合い大事にして生きていくことは大切なことです。また、道元禅師様は「世の中に正しいことは一つしかないのだから争つてはならない」とお示しです。互いの正しさこそ本当の正しさなので、仲良く暮らすことで、互いに正しい道を歩むことができます。また正しくないことで仲良くしても、それはいつか破綻を生じてしまいます。こうして互いを尊重し、正しさを心の柱として、仲良く生きる生き方が、仏教徒の生き方なのだと思います。

永平寺では朝のおつとめに参加し、参加者それぞれの心に思う仏の供養をしていただきました。百五十人余の修行僧の読経の響きに思わず手が合わさる思いでした。次に訪れた永光寺ようこうじでは瑩山けいざん禅師が手ずからおまつりされたというご本尊様の前で礼拝読経致しました。また監院さんにお話を頂戴し、ご説明の元、道元禅師、瑩山禅師などがまつられる非公開の伝燈院

の中まで入れていただき、現存最古の尊像を拝観、焼香し、点茶の接待まで頂戴しました。最後に訪れた總持寺祖院では、監院さんはじめ、山内修行僧のお出迎えを受け、読経礼拝、点茶と、歓待を受けました。監院さんより暖かなお言葉も頂戴することができました。曹洞宗の名刹をめぐり、それぞれのお寺で温かく迎えていただき、来訪者を大切にされる姿を見て、「南無帰依僧」の精神が息づいていることを実感することができました。

夏の盆行事、そして秋のお彼岸と、皆様のご来訪を「南無帰依僧」の精神で、山内一同お待ちしております。お誘いあわせの上ぜひお出かけ下さい。

合掌

住職 岡本和幸

寺のある暮らし・秋

千葉県袖ヶ浦市真光寺で行う「寺のある暮らし・秋」。里山の散策や食べられる野草摘みなどの田舎の山寺体験、住職による仏教話、写経・坐禅など、無理のない範囲でプチ修行も致します。夜はみんなで作った夕食を囲んでもよま話。老若男女問わずお気軽にご参加下さい。

日時 十月九日（土）十一時集合～十日（日）十五時解散
場所 真光寺

総武線快速「君津行き」姉ヶ崎駅下車 送迎します

参加費 六千円 一泊四食付き

定員 二十名

申し込み 真光寺までお電話又はFAXでお申し込み下さい

行事報告

「檀信徒」

◆花祭り法要・檀信徒総会

平成二十二年四月十一日
(日)に花祭り法要。引き続き檀信徒総会・親睦会を行いました。



◆寺のある暮らし・春

平成二十二年五月四日
(火)・五日(水)の二日間、真光寺にて寺のある暮らしを行いました。朝のお経や坐禅に写経。里山散策や畑づくり、採ってきた山菜での夕食作りなど充実した二日間となりました。



「縁の会会員」

◆七日法要

午前は仏殿にて当月ご逝去された会員の方々の月例供養と新しい会員の授戒式
(写真右列)
午後、四月植樹祭
(写真左列上)
五月里山散策
(写真左列中)
六月は梅の収穫
(写真左列下)



※お詫びと訂正

前回寺報にて掲載いたしました仏像修復ご寄進者ご芳名におきまして、ご芳名に間違いならびに記入もれがございましたことを、ここに心よりお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

■ご寄進者ご芳名 敬称略・順不同

為仏像修復

金 式萬五郎円

志主 飯塚 靖子

金 志萬円

志主 高吉 竹松

石本 正利

金 志萬円

志主 松澤 孝雄

安彦 悦子

阿部 利栄

仲佐 千恵子

ご寄進頂き心よりお礼申し上げます。また、皆様のお名前は記名し、仏像の中に奉納致します

合掌

上総自然学校（里山再生活動）

上総自然学校でのお米作りも今年で7年目となりました。昨今の屋外での自然体験ブームも手伝い、ここ川原井を訪れる人々の数も年々増えております。特に親子で参加されるご家族が格段に増えてきました。田植えといった田んぼ作業体験も人気ですが、自然観察会でも田んぼの生き物探しは人気があり、お子様のみならずいつのまにか親御さんも夢中になって生物を探している風景が見られます。親子一緒に楽しめるというのは大きな魅力の様です。

また、昨年当たりから袖ヶ浦市や市原市、君津市など近隣に住んでいらっしゃる方の参加が増え、少しずつですが、地元の方々にも来ていただけるようになってきました。「こんな近くにこんな所があったなんて！」と多くの方は驚かれます。そんな皆さまと一緒にここ川原井の自然豊かな里山を守り育てていきたいと思っています。どうぞ皆様これからもよろしくお願いいたします。

掘って掘って・・・



植樹

風景を開きませんか？

シイタケ菌打ち



2月 森林整備イベント「風景を開きませんか？」
冬の里山も気持ちいい（晴れてれば 笑）

開墾



抜けたっ！！



タケノコ堀 「パパもうちょっと！」

畔塗（くろぬり）

マイ苗作り



4月 畔塗

田植えに向け、畔に田の泥を塗って水漏れを防ぎます。稲の種モミを蒔いてマイ苗も作ります。新緑がとてもきれいな春の里山。



きれいに均すのも仕事です

田植え（NTT労働組合）



みんな裸足で。足裏の泥の感触を楽しむ



5月 田植え（NTT労働組合）

大きな田んぼ一枚と昨年秋の収穫祭にてみんなで手作り！したミニミニ田んぼで紫米の苗も植えました。

ミニミニ田んぼはほんとに小さい！

上総自然学校イベント予定

◇谷津田のお米作り

『稲刈り』 鎌で手刈りします

- ・平成二十二年九月 十八日(土)
- ・平成二十二年九月二十三日(祝・木)

『収穫祭』 新米を炊いていただきます

- ・平成二十二年 十月十六日(土)

◇風景を開きませんか？(森林整備イベント)

- ①平成二十二年十一月二十日(土)
- ②平成二十二年十二月十一日(土)

(内容)チェンソー講習 シイタケ菌打ち
稲刈り 山道作り 他

〈参加費〉 大人二千円

小学生 千円 (保険代込)

◇袖ヶ浦の宝物発見隊！(自然観察会)

NPO 法人千葉自然学校共催イベント

『里山の収穫祭』 竹筒ご飯炊き他

- ・平成二十二年十月二十三日(土)

〈参加費〉 五百円(保険代込)

※ご参加頂くにはお申込みが必要です。

詳しくはhpをご覧いただくか、お電話
でお申し込みください。

※内容は変更する場合がございます
ので事前にお問い合わせください。



田んぼの常識”泥んこ”



共同作業の良い体験にもなります

田植え(市進学院)

5月 田植え(市進学院)

市進学院(進学塾)さんのキッズフィールドという体験学習プログラム。上総自然学校の田んぼをフィールドに田植え体験です。子供たちは途中で飽きるだろうという予測を裏切り、最後まで植えていたのでびっくり！(もちろん田んぼを走り回る子もいましたが ^-^)

田植え(上総自然学校)

マイ苗を持って



田んぼ一枚終わった～



5月の里山

5月 田植え(上総自然学校)

この時期は暑くもなく、寒くもなく、
萌出る緑が美しく・・・と一年の中でも
最も過ごしやすく穏やかな里山をご
堪能いただけます。^-^

樹齢400年の銀杏



袖ヶ浦の宝物発見隊！



田んぼの水路には生き物がたくさん！



4月&5月 里山自然観察会

「袖ヶ浦の宝物発見隊！」

4月はスギやスダジイの巨木巡りトレッキングをしながら春の植物観察。
普段は見過ごしている草花がこんなにもあったとは！と驚くほど、たくさんの小さな草花を観察しました。

5月は君津亀山少年自然の家さん主催イベント、田んぼの水路の生き物観察。親子で坐禅体験もありました。



10分間、子供たちも静か～にしました

真光寺日記

昨年の冬、真光寺でやっている田んぼの馬瀬戸谷と多津辺谷の間の山の笹がきれいに刈られました。二十年ぶり？それ以上でしょうか。真光寺上田と共に開墾。アクション・グリーン（AG）さん（メンバー七人）です。

「里山に見参！アクション・グリーン」

アクション・グリーンは、千葉県で林業就職を希望する人を対象に行われた「林業就業支援講習」をきっかけに、「林業に貢献したい！」という熱い思いの元、二〇〇八年に四人で結成したグループです。思いはそれぞれですが、「何か変えたいならまず行動！」という気持ちで名づけました。現在にはさらに三人のメンバーを得て七人で活動しています。

当初は東京在住二名、千葉在住二名の組み合わせで、どこで活動を始めようか、どんなことをしてグループを持続させてゆこうか、いろいろと模索していました。そんな時に、千葉県緑化推進機構（当時）の平野さんが、真光寺さんを紹介してくださったのです。

夏のある日、袖ヶ浦で開催された刈り払い機の講習に参加しました。その足で真光寺さんへ向かい、おなじみ上田さんと初顔合わせをしました。なんとすごい筋肉の持ち主で、ここでの作業はそんなに苛酷なんだろうか？と、まずはひと驚き。

それから「上総自然学校」のフィールドの、広大な谷津田を案内してもらい、すっかりその光景の虜になりました。アクアラインを渡ってちよつと中に入ったところに、こんなにのどかな里山があるとは、思いがけないことでした。

作業をする場所ならたくさんあるから、と心よく迎え入れていただき、十月から田んぼに隣接する山の笹刈りを始めました。講習を受けているから、刈り払い機には相当慣れているんだろうと、上田さんは急な斜面も刈らせてくれましたが、実際は素人に毛が生えた程度の技量で、かなりひやひやしなから作業をしていました。しかも何年も放置されていた笹は太く丈も長く、ガンガン刃を当ててたたき切る感じでないと手に負えないもの

で、毎回汗びっしょりの消耗する作業でした。それでも、お昼に、ひんやりと気持ちよい旧本堂で休憩するのと、「主任猫」のモコに会えるのが楽しみで、せっせと作業に通いました。

夏の終わりから、秋、冬、春と活動を続けていく中で、森林整備活動にこだわっていた我々ですが、田んぼの開墾やお米作りの作業にも関わることになりました。食べ物が得られるという楽しさは、また格別でした。林業より農業に人が集まるという理由がよくわかり、ちよつとばかり悔しい気持ちを味わってしまったのですが。

その他にも、春にはタラの芽を収穫させてもらい、田んぼ作業の合間に木イチゴを食し、夏にはクワの実で指と口を紫に染め、秋はもちろんヤマグリ、そして田んぼ作業の貴重な成果の新米と・・・さまざまな味覚を里山にいただきました。東京に戻ればファーストフードやコンビニを多用する私ですが、ここでは自然の恵みをいただくのが、たまらなく楽しい！のです。

でも、林業にもシイタケ栽培があるぞ！と、笹を刈って姿を現したコナラの伐採をさせてもらいました。ホダ木にするには、かなり年月がたってしまった大木でしたが、なんとか使ってもらえそうで、ほくほくです。

この「上総自然学校」のフィールドの魅力は、四季折々の草花や木々が、いろんな色を見せてくれること、そして山の中に入って笹に取り囲まれて作業をしていると、視界が開けて田んぼが見渡せる場所があることです。汗をかいて、ふと眼を上げると里山の気が満ち満ちている、これが幸せな瞬間です。「ありがとうございます」といつぶやいてしまう。

そして一心不乱に笹を刈っていると、心の中にいろいろな思いが浮かんできます。雑念だったり、その時抱えている問題ごとだったり、また時には空っぽになったり・・・それがまたなぜかどれも気持ち良い、面白いと感じるのです。それは「三昧」って境地ですよと、上田さんに教えてもらい、深いぞ里山活動、と改めて感心してしまいます。

活動を始めてから、驚くこともありました。フィールドに向かう途中の山が、毎回どんどん削られていく。木が伐られ表土がむき出しになり、山の形が変わっていく。東京に近い場所だからこそこる、土取りでした。里山に不似合いな大きなトラックが、何台も行き交い土を運んで行く…。契約が交わされているので仕方ないことなのでしょうが、目の当たりにするとやりきれない気持ちになります。そのすぐ横では里山再生活動が行われている。皮肉なものです。せめて我々はその現実をしつかと見て、土取りとはこういう現象だということを、知らしめて行きたいと思います。土地はだれのものか、山はだれのものか、地球のものではないのか。そんなことを、活動のたびに思っています。

今後は、懐の深い真光寺さん、そして上総自然学校さんとタッグを組んで里山活動を通じた人間形成に関わっていかたいなと思っています。人間形成なんて書くと大仰ですが、要は都会の人も地元の人も巻き込んで、こんないい場所があつてこんな面白い活動をしているということを、どんな世の中に発信していきたいのです。

真光寺の方丈さんが、先日ブログにご自身の夢を書かれていました。その中に「真光寺を大衆修行道場にしたいと願っています。いつでも誰でも修行できる寺院にしたいのです」とあつて、とてもイメージがわいてきました。人がいてわいわいとにぎやかに、修行をしたりお米作りをしたり。そんなあたたかい光景の中に、私も含まれていたいと思います。また、アクション・グリーンもその中で、笹刈り部隊・伐採部隊として「ジャジャーン」と格好良く登場したいと思っています。

中列右が寄稿いただいた
AGリーダー多田知子さん



AGのメンバーの皆さん



Maggio - マッジオ



所在地	〒260-0033 千葉県千葉市中央区春日 2-9-1 5
営業時間	12:00~15:00(ラストオーダー14:00) 18:00~22:00(ラストオーダー21:00)
定休日	月曜日
TEL・FAX	043-242-287
総席数	26席
宴会最大人数	28人(着席時) 35人(立食時)

平均予算 (お一人様)
4,000円 (通常平均)
4,000円 (宴会平均)
1,500円 (ランチ平均)

総武線「西千葉駅南口」から徒歩3分。今回は千葉市中央区のおしゃれなマロニエ通りにあるイタリアンレストラン「Maggio (マッジオ)」をご紹介します。写真をみて気づいた方もいらっしゃるかもしれませんが、こちらのイタリアンは、真光寺で「洋食」の後席を頼まれた方にお出ししている料理です。著名な落合務シェフの下で15年修行した実力派オーナーシェフが作る料理の数々は、奇をてらわない、本物の味を楽しむことができます。

■「焼ふぐの子のスパゲティ」
焼いた「ふぐの子」をまぶした、クリームスパゲティ。プチプチと口の中で弾ける食感が楽しくておいしい一品です。



■前菜

■メイン

■デザート

袖ヶ浦散歩 (番外編)

行事予定

「檀信徒」

さんもんだいせじきえ

◇山門大施食会法要

平成二十二年八月九日(月)午後二時より説教 午後三時より

右記の日程で大施食会法要を行います。なお卒塔婆のお申し込みは地区役員もしくは、お寺へ電話かFAXでご連絡下さいますようお願い致します。

◇秋彼岸会法要

平成二十二年九月二十六日(日)午後二時より

右記の日程で秋季彼岸会法要を行います。法要後は落語会を予定しております。

※卒塔婆のお申し込み方法

山門大施食会法要・秋彼岸会法要の卒塔婆のお申し込みは、

・お施主様のお名前

・「先祖代々」又は「お戒名」どちらでのご供養をご希望かをお伝えください。

◇お寺掃除

八月一日(日) (新田・表場上・下)

◇婦人会ご詠歌練習日

七月 六日(火)・二十日(火) 午後八時より

八月 三日(火)

九月 十四日(火)・二十八日(火)

十月 十二日(火)・二十六日(火)

十一月 九日(火)・二十三日(祝・火)

十二月 十四日(火)

場所 真光寺 (どなたでも予約なしで参加できます)

「縁の会会員」

◇七日法要(打ち出し十一時)

八月「お盆法要」 平成二十二年八月七日(土)

【午前】授戒式・月例供養 【午後】施食法要

九月「秋彼岸会法要」 平成二十二年九月七日(火)

【午前】授戒式・月例供養 【午後】彼岸法要

十月「収穫祭」 平成二十二年十月七日(木)

【午前】授戒式・月例供養 【午後】収穫祭

十一月「植樹祭」 平成二十二年十一月七日(日)

【午前】授戒式・月例供養 【午後】植樹祭

十二月「懺悔会」 平成二十二年十二月七日(火)

【午前】授戒式・月例供養 【午後】大掃除

※卒塔婆(花塔婆)は電話かFAXでお申し込み下さい

*昼食準備の都合上、ご出席いただく場合は必ずお電話等でご予約下さい。
午前のみ・午後のみのご参加もできます。

*電車・バスでの参加の方には送迎を致します。お電話等でご予約下さい。

■送迎時間

□電車の方 JR内房線「袖ヶ浦」駅 10時10分着

□バスの方 【土日祝】 品川発 9時35分↓袖ヶ浦BT 10時22分着

横浜発 9時45分↓袖ヶ浦BT 10時22分着

川崎発 9時25分↓袖ヶ浦BT 10時14分着

【平日】 品川発 9時25分↓袖ヶ浦BT 10時12分着

横浜発 9時30分↓袖ヶ浦BT 10時12分着

川崎発 9時15分↓袖ヶ浦BT 10時04分着

□お車の方 10時40分頃までにお越しください。

各種お申込み連絡先

TEL 0438-75-7414 (代表)

TEL 0438-75-7365 (縁の会事務局)

FAX 0438-75-7630

e-mail ennokai@shinko-ji.jp (縁の会)

satoyama@shinko-ji.jp (上総自然学校)